

事業所名		after-school programるくーる				支援プログラム（児童発達支援）		作成日	2025 年	3 月	1 日
法人（事業所）理念		児童の人権、主体性を尊重し、児童の最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。									
支援方針		成長著しい幼児期の児童ひとりひとりの発達の充実が図られるよう、保護者や保育園との連携を重視しながら、個々のニーズに合わせ工夫を凝らした多様な活動・体験機会を提供することを通じ、就学に備えられるように支援する。									
営業時間		平日	10 時	30 分	から	12 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	来所時の健康チェック(検温・顔色・表情)の実施、ご家族様・学校からの体調管理(睡眠・食事・排泄等)の情報共有。 日常生活動作の獲得(手洗い・うがい・排泄・身辺整理・整容)。 健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。									
	運動・感覚	ボール運動(身体機能)・パズル(視覚・触覚等)・お箸トレーニング(手指機能)・ビジョントレーニング(視覚・空間認識)等を取り入れることにより、個々の心身の状態に合わせて姿勢保持や生活向上、筋力の維持・向上を図る。									
	認知・行動	支援スタッフが児童ひとりひとりの認知の特性を理解・把握することに努め、それらを踏まえて児童が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 ビジョントレーニング・微細運動などの活動の提供により、児童が視覚・触覚・嗅覚などを通じて体感し、認知機能の発達を促進。 児童ひとりひとりの進捗状況に合った学習支援を実施。									
	言語 コミュニケーション	支援スタッフとのコミュニケーション(言語・非言語のやり取り)により、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係の形成を促進。 活動中の意図的な声かけ等により、児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、バーバルコミュニケーション(言語)やノンバーバルコミュニケーション(表情・身振り等)を用いて意思を伝えることを促進できるように支援。									
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関りの機会および環境を提供することで人間関係形成を促進。 児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせ、ルールのあるゲーム・活動の提供により、楽しみや手順を理解できるよう支援。									
家族支援		ご利用児童を支えるご家族のレスパイト。 児童の発達状況を頻繁に情報共有し理解し合えるよう定期的なヒヤリング以外に公式Lineを導入。						移行支援	進級、進学、卒業後の進路等、児童と保護者様のニーズをくみ取り、進学・関連事業所への連携、引き継ぎを行う。 また目標に向かって必要な支援を実施。		
地域支援・地域連携		ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校、併用している他事業所との連絡や連携の実施。						職員の質の向上	研修(虐待防止・衛生・感染症予防・支援知識等)の実施。 福祉系ボランティア団体に所属し、他事業種についての知識向上、連携。		
主な行事等		室内イベント(節分・ハロウィンなど)									